

システム開発の国際標準

CMMI[®]成熟度レベル4を達成

株式会社DTS(本社:東京都港区、代表取締役社長:西田公一)は、このほどシステム開発の国際標準であるCMMI[®]成熟度レベル4を達成いたしました。今後は、さらに付加価値の高い IT サービスを提供するため、最上位である成熟度レベル5の達成に向けて取り組みを継続してまいります。

DTSは、お客様からの高度な品質要求にお応えするため、ソフトウェア開発プロセスの国際標準であるCMMI[®](※1)の成熟度レベル(※2)を高める取り組みを継続的に進めております。

2009年度には、産業公共向け部門でCMMI[®]成熟度レベル3を達成、2010年度からは、成果物の品質を定量的に管理することによるプロセス改善の取り組み強化を進めており、このたび、金融事業本部、産業公共事業本部、関西支社でCMMI[®]成熟度レベル4を達成いたしました。

CMMI[®]成熟度レベル4の達成に伴い、従来よりも高品質なソフトウェアを高い生産性で開発することが可能となります。また、国際標準であるCMMI[®]は、海外IT企業と合同で実施するシステム開発を円滑に進めるための共通基盤としても活用できます。

現在、成熟度レベル4を達成している国内企業はDTSを含め5社(※3)となっております。DTSは、さらに最上位である成熟度レベル5の達成に向けて取り組みを継続してまいります。

※1【CMMI[®]】について

CMMI[®](Capability Maturity Model[®] Integration、能力成熟度モデル統合)は、1999年米国カーネギーメロン大学ソフトウェア工学研究所(SEISM)で開発された、システム開発を行う組織の成熟度を表現するモデルであり、世界中の多くの企業で使用されるシステム開発プロセスの国際標準です。今回の成熟度レベル4達成はCMMI[®]バージョン 1.2DEVに基づいており、有効期間は3年間。成熟度レベル4以上は高成熟度と位置付けられており、厳格な定量的管理と評価改善が必須とされるため、非常に難易度が高いレベルとなっています。

※2【CMMI[®]成熟度レベル】について

成熟度レベル3： 定義、統一された手順でプロジェクト管理ができる組織

成熟度レベル4： プロジェクトの開発プロセス実施と成果物の品質を定量的に管理でき、改善できる組織

成熟度レベル5： 目標値、予測値、実績の全てが整合するよう、プロセスの改善、改革が継続的に実施されている組織

※3【CMMI[®]を達成している国内企業】について

CMMI[®]の認定機関である米国カーネギーメロン大学ソフトウェア工学研究所(SEISM)によると、2011年5月1日現在、有効期限内にある成熟度レベル4を達成している国内企業はDTSを入れて5社、成熟度レベル5を達成している国内企業は3社となっています。

<株式会社DTSの概要>

株式会社DTSは、システムをサポートする総合情報サービス企業です。コンサルティングから設計、開発、ハード・ソフトウェアの選定、運用、保守まで、お客様のニーズにお応えします。

詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.dts.co.jp/>

本社所在地：〒105-0004 東京都港区新橋 6-19-13
TEL:03-3437-5488(代表) FAX:03-3437-5330

<お客様からのお問い合わせ先>

生産品質部:TEL:03-3437-5176 FAX:03-3437-7566
E-mail:pms@dts.co.jp

<報道機関からのお問い合わせ先>

広報部 :TEL:03-3437-5945 FAX:03-3437-5330
E-mail:press@dts.co.jp

以上